

流砂礫地でとれるお米をブランドづくり

＜ 和田営団水利組合（和田営団農業振興研究会） ＞

丹波市 山南町

代表：藤原 勝

<p>目的</p>	<p>農地開発をして以来、施設の老朽化が進んでおり、ポンプや水路を更新しなくてはならない時期にきている。 幸いにも、この地は清い地下水と浅土に恵まれており美味しいお米が採れるので、米をブランド化することで少しでも価値あるものにし、地域を盛り上げていきたい。 また、後継者不足等による小作者依存の農業から、全組合員が一致団結して農地の再生並びに活性化に取り組むよう、促していくことを目的とする。</p>	
<p>内容</p>	<p>農業振興研究会を立ち上げ、将来の農業について研究した。 その研究会の中で、米のブランド化の為に独自の米袋を作成し、米のネーミングも考案した。 地元でPRするほか、特産品販売店等で米の販売、宣伝活動を行う。 また、インターネットや各団体に販売を依頼、マスコミにも広くアピールし記事にもなった。</p>	
<p>地域</p>	<p>丹波市内（特に山南町内）</p>	
<p>事業の効果</p>	<p>和田営団のブランド米を地元住民に広くPRし、和田営団でとれるお米は美味しいことを改めて確認してもらうことができた。 また、耕作者自身がブランドの意識を持ち、高い価格への挑戦も始めた。それに伴い、米販売業者より納入依頼や買付けの話題が出始めている。 施設の更新についても、市役所の理解も得られ実施調査も始まった。それに伴い、組合員にも施設更新に対する理解が深まってきた。</p>	
<p>事業経過</p>	<p>3月11日 3月15日 3月25日 4月21日 4月26日 5月30日 6月23日 7月16日 7月21日 8月23日 9月15日 10月18日 10月30日</p>	<p>第1回 和田営団農業振興会設立総会（営団役員13名研究会役員10名決定） 第2回 先進地水利・水路視察会実施 第3回 施設推進の方向決定、米のブランド化について研究 第4回 全耕作地の点検、米づくり・水利費等の研究 第5回 全耕作地と全水路・ポンプ庫の点検及び視察 第6回 水利費削減とブランド化に向けての議論 第7回 ブランドづくりについてアドバイザー（デザイナー）と研究会 第8回 ネーミングとデザインの検討会 第9回 ネーミングとデザインの決定、米袋の印刷業者決定 袋完成、配布 ブランド米として販売開始 漢方の里まつりにて、ブランド米見本販売、イベントを興行 小野尻庵にて結果報告会、販売先も決定 以後、本格的に稼働</p>



完成した米袋。パンフレットを添付して販売



大盛況だったまつり会場の様子



漢方の里まつりでの販売イベント



大盛況だったまつり会場の様子

協働先	<p>(丹波市商工会、丹波市観光協会) (山南観光特産振興会) (リフレッシュ館、山南観光案内所) (漢方の里まつり) (その他)</p>	<p>それぞれの独自のインターネットで紹介してもらっている。 各イベントに米のPRをお願いしている。 現品を常時展示販売している。 白米の小袋が人気を呼び、多数販売することができた。 別注の得意先もでき、2月ごろより順次ブランド米として購入してもらい目途がたった。</p>														
今後の展望	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブランド化する為に、独自の米袋のデザイン検討や、印刷業者の選定、PR文書の作成まで、色々な面で勉強ができ、皆で一致団結することができた。 2. 美味しいブランド米にするためには、稲の刈り取り時期を的確にし、一等米とすることが条件である。肥料にはどの様なものを使用すれば、食べた人により美味しい米だと言ってもらえるかなど、さらに研究を重ねていくことが今後の大きな課題である。 3. 今年はそれほど水を心配することなく済んだが、改めて水管理の難しさを確認した。 4. 縁故米販売が主であるため、小売販売で多くの人に買ってもらえるようになるには、1~2年のPRだけでは難しいので、今後も継続してPRしていく。 インターネットで都会の人にも買ってもらえれば販売の幅も広がるが、個人対個人での販売は難しいため、きちんとした組織を作り販売できる方法も、今後考えていく。 5. 将来のことを考えると、販売元の設置が重要であると実感した。 															
事業経費	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="209 1688 316 1765"></td> <td data-bbox="316 1688 794 1765">経費総額 (うち助成金)</td> <td data-bbox="794 1688 1503 1765">365,175円 (うち助成金240,000円)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1765 316 2132" rowspan="4">主な活動項目 (上位3項目)</td> <td data-bbox="316 1765 794 1841">活動等項目</td> <td data-bbox="794 1765 1503 1841">支出額 (見込額)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1841 794 1917">米袋 作製費</td> <td data-bbox="794 1841 1503 1917">172,200円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1917 794 1993">" デザイン料</td> <td data-bbox="794 1917 1503 1993">78,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1993 794 2069">パンフレット 作成費</td> <td data-bbox="794 1993 1503 2069">70,875円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 2069 794 2132">その他</td> <td data-bbox="794 2069 1503 2132">44,100円</td> </tr> </table>		経費総額 (うち助成金)	365,175円 (うち助成金240,000円)	主な活動項目 (上位3項目)	活動等項目	支出額 (見込額)	米袋 作製費	172,200円	" デザイン料	78,000円	パンフレット 作成費	70,875円	その他	44,100円	
	経費総額 (うち助成金)	365,175円 (うち助成金240,000円)														
主な活動項目 (上位3項目)	活動等項目	支出額 (見込額)														
	米袋 作製費	172,200円														
	" デザイン料	78,000円														
	パンフレット 作成費	70,875円														
その他	44,100円															